

浜松市議会議長 鈴木 育男 様

浜松市議会議員 馬塚 彩矢香 ㊟

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 5 9 条第 2 項の規定により通告します。

記

表 題	質 問 内 容 (簡潔・明瞭に記入)	答弁を求めようとする者の職名
1 「生物多様性はままつ戦略」と海岸環境保全について		
(1) 「生物多様性はままつ戦略」について	(1) 平成25年3月に策定された「生物多様性はままつ戦略」と海岸環境保全について、市長の見解を伺う。	鈴木市長
(2) 砂浜レキ化問題と海岸環境保全について	(2) ア 遠州灘海岸の養浜工事現場周辺における砂浜のレキ化の現状と今後の対応について伺う。 イ 浜松市指定文化財「アカウミガメとその産卵地」に影響が及んでいる現状に対する認識と、今後の対応について伺う。	朝倉土木部長 山下文化振興担当部長
(3) 新野球場の建設について	(3) 篠原地区への建設が議論されている新野球場の設計、設備(ナイター照明・外灯)は、本市の「生物多様性はままつ戦略」に対応した自然環境への配慮が必要と考えるが、見解を伺う。	〃
2 選挙権年齢引き下げに伴う対応と教育について		
(1) 出前講座について	(1) 選挙権年齢引き下げに伴い、現在行われている出前講座の実施件数と内容、終了後に実施しているアンケートの内容と結果について伺う。また、出前講座の実施方法を改良する考えはないか伺う。さらに、今後の小・中学生に対する出前講座の実施予定と利用推進策について伺う。	長田総務部長
(2) 選挙権年齢引き下げに伴う教育について	(2) 選挙は民主主義の基盤であるが、若年層の投票率の低下は著しく、政治参加への無関心を防ぐためには、児童・生徒への政治教育の重要性が増している。選挙権年齢引き下げに伴う、本市の小・中学校、高等学校におけ	花井教育長

質問順位	5	会派名	市民サポート 浜松	議席番号	3
------	---	-----	--------------	------	---

表 題	質 問 内 容 (簡潔・明瞭に記入)	答弁を求めようとする者の職名
(3) 選挙と市政を身近に感じられる教育について	<p>る現在の教育施策、対応について伺う。また、今後の対応について伺う。</p> <p>(3) 児童・生徒に政治参加の意識を持ってもらうことは、これからの大きな課題であり、体験的な政治教育の機会は効果的だと考えるが、教育委員会の見解を伺う。また、小・中学生が市政を身近に感じられるよう教育を工夫する必要があると考えるが、今後の取り組みについて伺う。</p>	花井教育長
<p>3 防潮堤工事と防災アプリについて</p> <p>(1) 防潮堤工事について</p> <p>(2) 防災アプリの普及について</p>	<p>(1) 防潮堤工事の進捗状況と今後の計画について伺う。</p> <p>(2) 浜松市防災アプリは災害時に大変役立つものだが、配信を開始して1年が経過したが、まだ浸透していないように思う。現在までの防災アプリのダウンロード数と周知方法を伺う。また、幅広い人々へ普及させるための今後の取り組みについて伺う。</p>	山下危機管理監
<p>4 若者及び女性の体や心の相談窓口について</p> <p>(1) 若者のための相談窓口について</p> <p>(2) 女性の健康相談ダイヤルについて</p>	<p>(1) 15歳から39歳までの若者の悩み相談を受けている「わかば」について、若者がその相談窓口を気軽に安心して利用出来るように広く知らせていく必要があると思う。そこで、「わかば」の現状について伺うとともに、今後の効果的な周知方法について伺う。</p> <p>(2) 平成21年から行われている女性の健康相談ダイヤルだが、現在までの利用件数、年齢層、相談傾向及び周知方法について伺う。また、若い女性の多くは潜在的に特有の体の悩みや不安を抱えているが、気軽に安心して相談できる場所が無いと感じている。相談をしやすくわかりやすいHPでの窓口が望ましいと考えるが、市の考えと今後の対応について伺う。</p>	伊熊こども家庭部長 渡瀬医療担当部長
<p>5 農業振興策について</p> <p>(1) 農業振興基本計画と農業統計データについて</p>	<p>(1) 浜松市農業振興基本計画は、平成21年から平成30年までの10年計画で策定され、目標値が掲げられたが、現在までの進捗状況を伺う。</p> <p>また、農業統計データを見ると、平成18年の農業産出額が示されているが、最新データがない。平成30年以降の計画の策定を考えた時、最新の統計データが必要であると思われるが、市の考えを伺う。</p>	鈴木農林水産担当部長

表 題	質 問 内 容 (簡潔・明瞭に記入)	答弁を求めようとする者の職名
<p>(2) 休耕地・耕作放棄地について</p> <p>(3) 青年就農給付金について</p> <p>(4) 専業農家の後継者について</p>	<p>(2) 農地銀行への登録件数とマッチング件数及び耕作放棄地対策事業への交付金額とその効果について伺う。 また、荒廃した耕作放棄地の再利用者に支援をしているが、耕作放棄が見込まれる者を調査し、荒廃前に対処したほうが効果的だと思うが、市の考えを伺う。さらに、農業振興基本計画のアンケートで「10年後は離農している」と答えた3割の就農者などの耕作放棄が見込まれる者へのその後の対応について伺う。</p> <p>(3) 農業振興基本計画において、次世代を担う就農者の育成・確保の施策と青年就農給付金で育成した就農者数及びその定着率、非定着理由とその対策について伺う。 また、退職予定者の退職後の充実した生活に繋げるために、新規就農者を募集して支援する考えはないか伺う。</p> <p>(4) 中小規模の専業農家の持続（存続）を考えると、後継者の育成が重要であるが、給付金の対象外である。離農を防ぐためにも後継者育成の支援は効果的と考えるが、本市独自の支援をする考えはないか伺う。</p>	